

大谷会館社会講座

問題

と

—— 経験・社会心理学の

両視点から ——

2022.11.11 **金** 15:00 - 18:00

会場：九州教務所 大谷会館 / ZOOM 配信



徳田靖之氏
弁護士



大江朋子氏
帝京大学教授



コーディネーター
青木玲氏
九州大谷短期大学准教授

主催：大谷会館

〒830-0038 福岡県久留米市西町540-1 ☎0942-32-3056 〈担当：中野〉

私問題とハンセン病

— 経験・社会心理学の
両視点から —

大谷会館事業「社会講座」は旧久留米教区で開催されていた事業です。これまでには東日本大震災で浮かび上がった原発の課題、LGBTQの課題、沖縄の米軍基地の課題などを取り上げてきました。

久留米の街なかにある大谷会館が、真宗の教えと、そこから見えてくる社会の問題を、近隣の方々と共有したいという思いから企画されてきました。

「社会の問題に、なぜ真宗のお寺やお坊さんが関わる必要があるのか」という質問は、一般社会の方々からのみならず、真宗門徒の中からも、真宗の僧侶の中からも投げかけられるものではあります。

しかし、平等の救いを約束された阿弥陀如来の本願は、私に問いかけます。「差別に苦しむ人々のすがたに目を閉じたままではいるのですか」「戦争で奪われていくいのちの叫びに耳をふさいだままではいるのですか」「人間同士の分断が放置されたままではいるのですか」と。

問いの前に身を据える場を開き、本願からの呼びかけに応えんとする。それこそが「社会講座」が有縁の方々と共有したい姿勢であります。

コロナウィルス感染症に関わる問題として、今回はハンセン病問題から学んでいきたいと考えています。



徳田靖之氏
弁護士

ハンセン病家族国家賠償請求訴訟や「菊池事件」再審請求など、ハンセン病問題に最前線で取り組み続けられている。ハンセン病市民学会共同代表。



大江朋子氏
帝京大学教授

社会心理学から、偏見・差別の仕組みにアプローチされる。共著として『偏見や差別はなぜ起こる？：心理メカニズムの解明と現象の分析』がある。



コーディネーター
青木玲氏
九州大谷短期大学准教授

大谷会館では聖典講座「正信偈」が開講中。九州大谷短期大学の他、いろいろなところで活躍中。

- ① 15:00 開講式
- 15:10 講演①
- 16:00 休憩
- 16:05 講演②
- 16:55 休憩
- 17:00 シンポジウム
質疑
- ① 18:00 閉講式



当日、ZOOM配信もあります

ミーティングID: 895 7085 8108
パスコード: 770634

